

社会福祉法人 ながのコロニー

平成 28 年度 事業計画

1 障害者福祉制度の改革

社会福祉法人制度は昭和 26 年社会福祉事業法成立以降、それほど大規模な変更がなく今日に至っています。しかし、人口減少、超高齢者社会など社会構造の変容に伴い社会保障費の増大による財源の枯渇、福祉ニーズの多様化、複雑化への対応等から、公的な財源を基に、その中心的な担い手として福祉サービスを提供している社会福祉法人の経営の在り方が問われています。現在通常国会において社会福祉法人の活動の根拠となっている社会福祉法の改正案が審議されており、可決後、平成 28 年 4 月 1 日以降順次施行されることが見込まれています。

改正案の趣旨は、社会福祉法人の「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的取組を実施する責務」等の改革を推進するもので、主に「経営組織のガバナンスの強化」では役員等の権限、責務、責任の明確化を基本に議決機関としての評議員会を必置とするなど、今日の公益法人に求められる内部統制の機能を十分果たせる仕組みにする。「事業運営の透明性の向上」では財務諸表、現況報告書等の公表に係る規定の整備、「財務規律の強化」では内部留保の明確化、社会福祉事業への計画的な再投資、「地域における公益的取組を実施する責務」では社会福祉事業及び公益的事業を行うに当たって、無料又は低額な料金で福祉サービスを提供することを責務として位置付けるとするものです。

当法人としても今回の社会福祉法の改正を前向きにとらえ、法人経営に対してこれまで以上に襟を正していくことで、社会福祉法人が社会から求められている負託に応えられる法人となるよう、対応してまいりたいと考えています。

2 事業運営方針

篠ノ井施設の入所支援の状況は、ワークサポート篠ノ井では障害支援区分の比較的軽い方が多く、一方、ハートフル五明では高齢化に伴う身体機能の低下及び障害の重度化が顕著に見られ介助等日常的な係りが増加傾向にあります。今後、ワークサポート篠ノ井では面談等により、これからの暮らし方を自ら選択できるよう、グループホームや介護保険施設などの見学の機会や情報提供及び提案に努めます。ハートフル五明では介助等に対応するため、施設体系の変換・基盤づくりの検討及び職員体制、勤務形態、支援方法を見直し、多様なニーズに対応してまいります。

また、はあてい若槻を含めた 3 施設とも利用される方が減少していることから、利用される方の確保と効率的な施設運営に努めると共に、生産活動を目指す事業については、利用される方の適性に合わせた効率的な作業や受注の安定確保等により、工賃の増額に繋げてまいります。

長野福祉工場については厳しい状況が続いている中で、印刷事業では営業力強化による売上の確保を目標としてきましたが、人材の確保を含め結果に繋がらなかったことから今年度も人員確保と教育を目標とし、縫製事業では売上の拡大、新規受注等による収益の向上及び受注等各場面において常に原価意識を持ち粗利の確保に努めてまいります。

また、新規事業についてはゼンコロとも連携を取り、現行事業の補完をめざした事業展開の検討を行います。

印刷棟の改築については印刷事業等の将来の方向性、印刷機器の更新等について幅広く検討し、目標を持った施設運営に努めてまいります。

I 法人本部（総務部）

- 1 社会福祉法人の制度改革について、国の動向を見極めながらその改革に沿った対応を進めます。
- 2 平成 27 年度予算から、社会福祉法人の新会計基準による処理への移行が完了しました。新年度についても例年同様各事業において、厳しい予算での運営が予想されますが、利用者の安全・健康維持、満足度向上については特に注力し、安定した運営に努めます。また、そのために必要な資源の提供や助力を行います。
- 3 各種研修・講習等への参加、ゼンコロ加盟法人との連携や活動への派遣を通じ、職員の資質向上に努めます。また、キャリアパス制度導入を視野に入れ、長期的かつ安定的な人材確保に努めます。
- 4 施設内における感染症対策や、災害発生時の避難経路・任務分担等の危機管理体制について、職員への周知再徹底を図ります。
- 5 コロニー祭・コロニーまつりの開催、地域イベントへの参加、広報誌やインターネットを活用した情報発信等により、地域住民との交流機会拡大を図ります。また、災害等発生時の連携強化に努めます。
- 6 ストレスチェック制度導入・実施に向け、必要な準備を進めます。
- 7 「ハラスメント防止規程」を施行します。セクハラはもとより、パワハラ等のハラスメントは許されない行為である事を法人として明確にし、職員・利用者はじめ、法人に関わる全ての人々が尊重される、働きやすい職場環境の実現を目指します。規程施行に合わせ、職員の研修も実施します。
- 8 平成 28 年 1 月から、個人番号（マイナンバー）制度の運用が開始されました。法人内でも職員の社会保障や税の分野などの事務で利用するほか、利用者の個人番号を取り扱うことから、施行に合わせ策定した取扱規程に準じた方法により、適切に運用してまいります。
- 9 理事会・評議員会開催日程
平成 28 年 5 月下旬（事業報告・決算関係）
平成 28 年 7 月上旬（役員改選等）
平成 28 年 12 月初旬（中間決算関係）
平成 29 年 3 月下旬（事業計画・予算関係）
その他必要に応じて随時開催
- 10 監査実施日程
平成 28 年 4 月下旬（決算）
平成 28 年 10 月下旬（中間決算）
- 11 各施設の防災訓練実施日程
（春季）平成 28 年 5 月 （秋季）平成 28 年 10 月

II ワークサポート篠ノ井

指定障害者支援施設

	施設入所支援	生活介護	就労移行支援	就労継続支援 B 型	短期入所
定員	40	44	6	10	2
実利用 (H28.3.1 現在)	34	50	0	8	—
入所利用者 34 名、通所利用者 24 名					

指定障害者支援施設として、各事業のサービス内容と目的に沿った取り組みや日中活動及び暮らしの支援をより充実させるため、それぞれの状況や状態、希望などを確認し、個別支援計画を基に必要なサービス提供を行い作業面及び生活面の質の向上を図ります。

生産活動では現作業を継続し、それぞれの適性に合った作業が効率的に行えるよう、また、役割を持って取り組むことで充実した利用ができるよう支援します。

生活面では年齢や障害の状態と生活状況等を考慮し、地域生活に向けグループホーム利用、他の施設利用などの働きかけを行います。合わせて将来に向けた暮らし方について情報提供や提案を行います。

【支援サービスごとの計画】

1 施設入所支援

入所利用の皆さんの状況や状態に応じ、必要で適切な支援と介助を行います。また、地域移行等これからの暮らし方をご自身で選択していただくために、面談、施設見学などを実施し必要な情報提供や提案を行います。

2 生活介護

(1) 生産活動

生産活動においては、やりがい、意欲、責任感を持って取り組めるよう支援します。また、個々の適性に合わせた生産活動を提供するため作業種の見直しを行い、作業場の配置を整理することで効率的な生産活動の場を提供し、工賃確保に努めます。

(2) 生活面

その人らしい生活ができるよう支援し、快適な住環境と安心して過ごせる暮らしを提供できるよう努めます。これからの暮らし方を自ら選択できるよう情報の提供に努め、利用者の希望に沿ってハートフル五明などの他施設や介護保険施設、グループホームなどの利用を検討します。

食品管理については、居室の整理清掃時にそれぞれの冷蔵庫内の食品の賞味期限などの状況を確認し、食品に対する管理意識を高めていただくよう支援します。

健康面での管理や改善に向けた支援では、病気予防のため身体の衛生と、特に足の状態を定期的に把握し、健康面に意識を持っていただくよう支援します。また、健康維持のため口腔ケアについて出張講座を開催し意識を高めていただくよう取り組みます。

生活の質を向上させるための支援では、その人に適した余暇の過ごし方の把握に努め、余暇に関する情報提供などの支援を行います。

〔目標工賃〕

年間売上目標額	年間目標工賃額	平均月額工賃
12,968,000 円	9,900,000 円	16,500 円

3 就労移行支援

(1) 日中活動

4月から稲荷山養護学校卒業生2名利用予定。利用される方の状況やニーズを把握し、就職に向けた取り組みだけでなく生活リズムを整え安定した日々が送れるよう係り、実習をとおして様々な事を経験するなど幅広い支援を行います。

施設内では既存作業や必要な学習会、施設外では企業実習を行い、利用者一人ひとりの目的に応じた取り組みを行います。ハローワーク、障害者職業センター、就業・生活支援センター、相談支援事業所など関係機関とも連携をとりながら利用される方の希望に対して情報収集と情報提供を行います。また、今後他のサービスの利用を希望する方に対しては必要な支援を行います。

(2) 生活面

保護者の方と連絡を取り合いながら、利用される方やご家族が希望する日中活動を送ることができるよう支援に当たります。

〔目標工賃〕

年間売上目標額	年間目標工賃額	平均月額工賃
200,000 円	180,000 円	7,500 円

4 就労継続支援 B 型

(1) 生産活動

既存の軽作業と企業実習を中心に日々安定した作業への取り組みと、責任感や達成感を感じられるよう、それぞれのニーズに沿った支援を行います。

(2) 生活面

個々の状況や希望を確認しながら、一人ひとりに合った充実した生活が送れるよう支援に当たります。

〔目標工賃〕

年間売上目標額	年間目標工賃額	平均月額工賃
1,632,000 円	1,632,000 円	17,000 円

5 短期入所

在宅障害者の短期的な入所により、家族の介護に係る負担軽減や地域生活に向けた訓練など利用される方の目的を確認し、必要な支援と状況や状態に合わせたサービスの提供を行い、安心して利用いただけるよう努めます。夜間に介助の必要な方に対しては、現状の体制の中でできる範囲の介助を行います。

6 保健

(1) 疾患の早期発見や現病の悪化を防ぐため、年2回の定期健康診断、嘱託医による月1回の診察のほか、各種検診を定期的実施し、健康管理に努めます。今年度から嘱託医が交代するため、血液検査及び各種検査を必要に応じて行います。

(2) 支援員・栄養士・看護師が情報を共有し、高齢化や障害の重度化による健康状態の変化を把握することで、それぞれの状況に合った支援を行います。また、疾病予防を含んだ身体の衛生保持の必要性の理解と意識を持っていただくよう支援します。

(3) 感染症対策として、インフルエンザ予防接種の実施とノロウイルスなどの知識の習

- 得と情報収集を行い、予防及び啓発に努めます。
- (4) 外部専門家の助言等をいただきながら、医療ケアを安全確実に実施します。

7 給食

- (1) 日々の身体状況に応じた食事を提供すると共に、嗜好や季節感・行事食を取り入れ楽しく温かい食事提供に心がけます。
- (2) 支援員・看護師・栄養士が互いに情報を共有し、特定の疾患のある方については引き続き間食の摂り方や休日の欠食数の減少を図ることで健全な食生活ができるよう支援し、身体状況により適切な栄養ケアを行い改善に努めます。また、療養食の提供を引き続き行い生活習慣病などの改善と健康維持に努めます。
- (3) 配膳、介助時は衛生状態に細心の注意を払い、常に食事摂取状態の観察を行い、適切な栄養量が確保されるよう、そして状況により食事形態の変更を行い、安全で安心な食事を提供に努めます。
- (4) 嗜好調査を兼ねた個別面談を行い、より満足度の高い食事提供とサービスの向上につなげていきます。さらに、利用者代表の方々と定期的な話し合いを行い、意見や要望を取り入れていきます。
- (5) 給食運営が衛生的かつ安全に行われるよう、また、個別対応の食事提供を行うため、常に委託事業者との連携に努めます。

8 行事

皆さんの生活に彩を添え、季節を感じていただくため、次の行事を行います。

- ・グループ行楽(春～秋に複数のコースで実施)
- ・納涼祭
- ・コロニー祭
- ・忘年会
- ・成人式
- ・宿泊旅行

[購入予算]

購入設備	数量	単価	金額	備考
利用者支援システム	1式	1,224,000円	1,224,000円	
給食栄養管理システム	1式	200,000円	200,000円	

Ⅲ ハートフル五明

指定障害者支援施設

	施設入所支援	生活介護
定員	40	40
実利用 (H28.3.1 現在)	30	32
	入所利用者 30名、通所利用者 2名	

高齢化に伴う身体機能の低下、障害の重度化は例年に続き顕著に現れており、日常的な係りが必要になっています。このような状況に対応するため、引き続き施設体系の変換・基盤づくりの検討をします。また、職員体制や勤務形態、支援方法を見直し、多様なニーズに対応できるよう努めます。

【支援サービスごとの計画】

1 日常生活上の支援

(1) 介護

機能低下などにより日常的に身体介助等の必要な方が増加しています。皆さんの状態に合わせ介護ができる支援体制を整え、安心して生活していただけるよう努めます。

(2) 入浴

衛生的な生活が送れるよう、週4回の入浴介助を実施します。入浴・更衣介助の他、体の状態の確認を行い、安心して快適に入浴していただけるよう努めます。

(3) 外出

皆さんの意見を聴き、買い物や食事、花見等の季節の行事など、希望や楽しみを取り入れた外出を企画します。

(4) 機能維持訓練

体力・機能維持のために、活動開始前の体操や機能維持訓練を継続して実施します。その他、昼食前の嚥下体操や身体を使ったレクリエーションなども行います。

(5) 通院付き添い

日常的な定期通院に加え、緊急通院が増加しています。日々の状態を把握し、看護師と連携しながら対応します。

2 日中活動の支援

創作活動としては、季節の行事、音楽、工作、レクリエーション、外出などニーズに沿った余暇支援を企画し、場合によっては外部講師の活用も検討します。

生産活動としては、受注作業がなくなったため、陶芸、ゴム編み等の自主生産品の幅を広げ、その他展覧会への出品（絵、書道、ものづくり…）などの作品作りを検討し、作品を仕上げる達成感や展覧会出品という新たな目標を持っていただけるよう支援します。

3 保健

(1) 疾患の早期発見及び障害の重度化・高齢化による現病の悪化を防ぐため、各種検診や年2回の定期健康診断などを実施し、日々支援員・栄養士と情報を共有し、異常の早期発見に努めます。

(2) 嘱託医による月1回の診察を行います。今年度から嘱託医が変更になるため、必要に応じて血液検査や各種検査を行います。

(3) 感染症対策は、インフルエンザ予防接種の実施とノロウイルスなどの知識の習得、情報収集を行い、予防対策・啓発に努めます。

(4) 外部専門家の助言等をいただきながら医療ケアを安全確実に実施します。

4 給食

(1) 日々の身体状態に応じた食事を提供すると共に、嗜好や季節感・行事食を取り入れ楽しく温かい食事提供に心がけます。

(2) 支援員・看護師・栄養士がお互いに情報を共有し、食事や間食の摂り方・食事環境など健全な食生活ができるよう支援し、身体状況により適切な栄養ケアを行い改善に努めます。また、療養食の提供を引き続き行い生活習慣病などの改善と健康維持に努めます。

(3) 配膳・介助時は衛生状態に細心の注意を払い、咀嚼や嚥下機能、摂取状況等を観察し、状況により食事形態の変更を行い安全で安心な食事を提供します。また、引き続き食事前に嚥下体操を行い予防に努めます。

(4) 嗜好調査を兼ねた個別面談を行いより満足度の高い食事提供とサービスの向上につな

げていきます。さらに利用者代表の方々と定期的な話し合いを行い、意見や要望を取り入れていきます。

- (5) 給食運営が衛生的かつ安全に行われるよう、また、個別対応の食事提供を行うため、常に委託事業者との連携に努めます。

5 行事

皆さんの生活に彩を添え、季節を感じていただくため、次の行事を行います。

・春の行楽 ・納涼祭 ・秋の行楽 ・コロニー祭 ・忘年会 ・宿泊旅行

〔購入予算〕

購入設備	数量	単価	金額	備考
利用者支援システム	1式	1,224,000円	1,224,000円	
給食栄養管理システム	1式	200,000円	200,000円	
シャワー用車椅子	1台	116,000円	116,000円	

IV はあてい若槻

多機能型事業所

	生活介護	就労継続支援 B 型
定員	16	25
実利用 (H28.3.1 現在)	13	22

多機能型事業所として、各事業のサービス内容と目的に沿った支援の充実のため、職員が利用者支援の専門性を認識し、サービスの質の向上を図ります。個別支援計画に基づき皆さんのニーズを把握し、思いに寄り添った支援に努めます。また、利用定員が充足されるよう関係機関と連携して取り組みます。

【支援サービスごとの計画】

1 生活介護

生活介護では、日中活動として生産活動及び創作活動の両方を充実させるため、生産活動は丁寧な作業に心掛け、良い製品が納品できるように努めます。創作活動は皆さんに体験や学びの機会を提供します。時には外出も行い、文化的なものに触れ、体験できる内容を計画します。月2回の音楽療法や月1回のお話し読み聞かせについては、好評のため継続して実施します。

2 就労継続支援 B 型

- (1) 既存の取引事業者からの受注に対して、正確で丁寧な作業に心掛け、受注の安定確保により、工賃の増額に努めます。また、新規取引事業者による施設外就労について、より一層の充実を図るよう取り組みます。
- (2) 関係団体 (SELP 等) と連携を取り、新たな受注の開拓に努めます。
- (3) 自主生産品 (食品加工) に着手できるよう、作業内容の検討や作業体制、職員配置について検討します。

〔目標工賃〕

年間売上目標額	年間目標工賃額	平均月額工賃
5,172,000 円	4,884,000 円	18,500 円

3 行事・レクリエーションについて

(1) 年間行事

皆さんの生活に彩を添え、季節を感じていただくため、次の行事を行います。

- ・春のレクリエーション
- ・宿泊旅行
- ・サマーパーティー
- ・コロニーまつり
- ・忘年会

(2) 土曜レクリエーション

土曜開所日に、皆さんのご希望を踏まえ、楽しいレクリエーションを企画・実施します。

〔購入予算〕

購入設備	数量	単価	金額	備考
利用者支援システム	1 式	851,000 円	851,000 円	
結束機	1 台	659,000 円	659,000 円	
食堂カーテン	1 式	162,000 円	162,000 円	

V 地域生活支援センター コロニー

グループホーム

名称	定員	実利用 (H28.3.1 現在)
さいなみほ～む	4	3
うわのほ～む	4	3

「さいなみほ～む」のバックアップ施設は「ワークサポート篠ノ井」、「うわのほ～む」のバックアップ施設は「はあてい若槻」が当たり、皆さんが安心して充実した生活が送れるよう世話人と連携を取り、ニーズの把握を行いながら支援を行います。また、地域生活に向け瀬原田地区においてグループホームの新設を進めており、現在平成 28 年度社会福祉施設整備事業の大規模修繕補助の申請手続きを行っております。

〔購入予算〕

購入設備	数量	単価	金額	備考
グループホーム瀬原田改修工事	1 式	9,354,000 円	9,354,000 円	国庫補助金申請

VI 指定相談支援事業所 あいくる

計画相談支援事業について、制度の仕組みが関係者に浸透してきており、行政等とも課題検討・改善を図りながらスムーズに取り組めるようになってきました。今後は更に行政等と連携を取りながら進めていきます。

VII 長野福祉工場

指定就労継続支援 A 型事業所

定員	40	実利用 (H28.3.1 現在)	40
----	----	------------------	----

近年印刷事業を取り巻く情勢は厳しく収支状況は低迷が続いています。主な原因として営業力の強化を目標として売上の確保を目指してきましたが、人員の確保も難しく、結果に結びつけることができませんでしたので、今年度も引き続き営業力強化のため、営業職員の確保と教育を目標に取り組み、売上の確保に繋げてまいります。縫製事業では粗利の確保に課題があることから、数年来同様の目標を掲げ取り組んできましたが、改善の進捗が悪いことから、今年度は結果が出せるよう取り組んでまいります。

また、新規事業についてはゼンコロとも連携を取り、現行の事業の補完をめざした新規事業展開の検討を行います。

これらの遂行により経営内容の改善を図るとともに、福祉工場の将来を見据え法人本部とも連携し印刷棟の改築に道筋が立てられるよう長期計画の検討に取り組んでまいります。

事業別目標

1 印刷事業

- (1) 売上目標 3 億 8 千 500 万円、加工高目標は 1 億 7 千万円とします。
- (2) 営業職員の増員を行うほか、大手の取引先に対しては、製造部の管理職に引き続き営業活動に参画してもらい営業力の強化を図ります。
- (3) 営業担当者の目標への取り組み意欲、企画力・対応力を身につけるため、製造部に協力してもらい、短時間であっても研修の機会を増やして実行します。
- (4) セキュリティ更新切れのサーバーや、部品供給の終了した機械等の更新を計画的に実施します。
- (5) 全ての部署において、監督職やチームリーダーによる丁寧な作業指示と、声かけによる時間管理を行い、ミス・ロス・クレームの発生抑止と効率化を図ります。
- (6) 全ての部署において、毎回同じように行うことのみを仕事と捉えるのではなく、常に生産性向上、効率化のための工夫が考えられるよう意識改革を図ります。
- (7) 全ての部署において、再作業の把握を強化して、対策を早期に立案し改善すると共に、マニュアルの作成・補完・利用を徹底します。
- (8) 今後の印刷事業の方向性、印刷機器の更新、印刷棟の改築等について検討し、目標を持った施設運営に努めてまいります。

2 縫製事業

- (1) 売上目標 1 億 4 千万円、加工高目標 3 千 500 万円とします。
- (2) 新規投入商品の売上拡大、安定した新規受注の獲得により収益の向上を図ります。
- (3) 原価意識を持ち、受注・資材購入・外注等の場面において粗利確保に努めます。
- (4) 管理職、監督職、指導員による作業の見直しと、それに伴うマニュアルの作成・更新・補完・利用を徹底します。
- (5) 整理整頓等 5S やメンテナンスを徹底して作業環境の改善に努め、時間や資材のロスの原因削減を図ります。

3 新規事業展開の検討

- (1) ゼンコロ等と連携し、福祉事業・就労支援事業を問わずに、新規事業の模索・検討を行い、事業化の方法を検討します。

- (2) 新規事業の検討に際しては、現状の人員・設備等を有効利用でき、1～3人程度で行える事業を優先して模索・検討します。

4 福祉事業

- (1) 職員がA型の事業所として、法人理念に沿った支援を行う意識と必要なスキルが身に着くよう、サビ管を中心としてOJT・Off-JTを通じて指導・育成します。
- (2) 支援の専門性を高めるため、社会福祉士等の資格取得や、障害者権利条約批准に伴う種々の法令等の研修、支援技術向上のための外部研修等への積極的な参加を推奨します。
- (3) 健康管理や状態把握等の生活支援と、過負荷にならない作業指導により、利用者の方が安定して働けるよう一層留意します。
- (4) 法人本部と連携して印刷棟の改築に道筋が立てられるよう取り組みます。

[購入予算]

購入設備	数量	予算	自己資金	備考
刺繍機(ソフトを含む)	1式	263万円	66万円	中央競馬馬主社会福祉財団様補助申請予定(県共同募金会)
自動丁合機	1式	454万円	54万円	日本郵便様補助金申請
営業車両(更新)	1台	130万円	130万円	リースによる購入
最新ソフト用・出力用パソコン	2台	40万円	40万円	
制作用パソコン	3台	60万円	60万円	
名刺断裁機(きりっ子)	1台	40万円	40万円	メンテナンス又は購入

VIII 障害児自立サポート事業所 すまいる

	小学部	中学部	高等部
登録者(H28.3.1現在)	10	5	3

市単独事業である障害児自立サポート事業により運営してきましたが、行政等との課題検討や長野市自立支援協議会との連携を図ってきたことを踏まえ、新年度中には法定事業の放課後等デイサービス事業への移行を進めてまいります。

IX 障害児自立サポート事業所 ふれんど

	小学部	中学部	高等部
登録者(H28.3.1現在)	0	4	1

利用される方の人数や希望に沿った事業運営を行い、お子さん方の成長を考えた支援に取り組んでまいります。